

2022年1月19日

第12回 世界と伍する研究大学専門調査会 における意見

小林 喜光

- 10兆円ファンドの立ち上げと支援対象大学選定方法の検討を並行させるという事務局の貢献を高く評価したい。
- 本専門調査会で支援のあり方について明確なコンセンサスを得られた以上、事務局はできるだけ早く制度設計を完了させ、一日でも早く大学支援を実行すべく努力を続けてほしい。
- 国際卓越研究大学、地域中核大学、特色ある研究大学、それぞれの特長にふさわしい支援策を国が整備し、各大学が自主的、戦略的に選択、活用できるようにすることが、大学の自治や多様性を真に後押しすると考える。
- 一方で、新たな大学支援政策を始動する以上、これまでの政策の整理や統廃合も必要ではないか。スクラップアンドビルドの仕組みを取り入れてほしい。
- なお、大学ガバナンスの制度設計に当たっては、コーポレートガバナンスの好事例も参照して、あくまで実効性と簡潔さを旨としてほしい。

以上